

～河辺雄和商工会では国の認定を受けて『経営発達支援事業』に取り組んでいます～

「経営発達支援事業」とは…「小規模事業者支援法」に基づき地区内小規模事業者の皆様の持続的な発展に向けて実施している経営支援（経営改善普及事業）の中でも特に重点的に取り組む事業のことで、「経営発達支援計画」として国が認定しています。

「経営発達支援計画」では、特に“経営計画の策定”から“計画の実行支援”、“フォローアップ”に至るまで、事業者に寄り添い支援する「伴走型支援」の徹底が求められており、商工会でも経営発達支援計画に基づいた事業者支援に注力しております。



河辺雄和商工会の「経営発達支援計画」

【計画期間】令和2年4月1日～令和7年3月31日（5カ年）

【到達目標】

個社支援強化による戦略的経営の実現

地域の強みを最大限に活かした創業支援

地域経済の持続的発展のための事業承継

- 【主な事業】
- ① 地域の経済動向調査に関すること…中小企業景況調査、課題抽出調査の実施・分析、活用。
 - ② 経営状況の分析に関すること…上記調査結果から対象者を選定し、経営分析を支援。
 - ③ 事業計画策定支援に関すること…事業計画の策定に加え、事業承継、創業計画等の策定を支援。
 - ④ 事業計画の実施支援に関すること
 - ⑤ 需要動向調査に関すること…アンケート調査の実施・分析、課題解決サポートを徹底。
 - ⑥ 新たな需要の開拓に寄与する事業…販路開拓のための商談会等への参加支援。

<その1>「事業承継計画策定セミナー」の開催

地区内小規模事業者の皆様の持続的発展を支援するために、事業計画や事業承継計画の必要性の啓発と策定支援を行っています。

支援の一環として、計画策定のために必要な知識習得を目的に「事業承継計画策定セミナー」を開催しております。

10月11・18日（火）には「お金の知識習得編」・「後継者編」として事業承継するにあたり、留意しておきたいポイントを絞りながら、事業承継計画策定手法を学びました。



<その2> 商談会出展のための支援

消費者ニーズやバイヤーからのアドバイスを収集し、自社商品のブラッシュアップ、販路開拓、売上増加に繋がる事業計画策定に活用することを目的に、商談会及び物産展への出展支援を行っています。

10月25日（火）には、秋田商工会議所主催の「いっぴん商談会」において、2事業所の出展支援を行い、商談継続へ繋げることができました。



<その3> 中小企業景況調査に基づく分析



商工会では、全国商工会連合会に協力して四半期ごとに管内企業の景況調査を実施しています。

この度、令和4年4～6月期、令和4年7～9月期の調査結果を踏まえ全国と河辺雄和地区の景況感を天気図で分かりやすく御紹介します。右上のQRコードからも御覧頂けます。

※DI値とは…

<全国と当地域の景況DI値の比較>

「好転」と回答した企業の割合から、「悪化」と回答した企業の割合を引いた数値

	全 国 (n: 約 8000 社)				河 辺 雄 和 (n: 15 社)			
	R4.4～6月期	R4.7～9月期	前期比	景況感	R4.4～6月期	R4.7～9月期	前期比	景況感
売上高	△11.3	△11.4	-0.1		△20.0	△6.7	+13.3	
採算	△33.5	△34.9	-1.4		△26.7	△20.0	+6.7	
資金繰り	△16.8	△17.6	-0.8		△20.0	△26.7	-6.7	

<当地域の業種別天気図 (R4.7～9月期) >

	河 辺 雄 和 (n: 15 社)			
	製造業	建設業	小売業	サービス業
売上高				
採算				
資金繰り				

= 天気図の解説 =

				
DI30以上	DI10以上 30未満	DI△10以上 10未満	DI△30超 △10未満	DI△30以下

※DI値がマイナスの場合は、悪化したと回答した企業の数が多い事を示します。

<主な分析コメント>

(全業種)

- ・4～6月期と比較して全国の景況感が低迷している中、当地域では売上高、採算（経常利益）は若干の改善となっているが、資金繰りが低迷しており中小企業にとっては依然として暗雲が漂っている。
- ・資金繰りは全国DIより9.1ポイント下回っている。
- ・経営上の問題点としては、引き続き4業種の全てで原材料や仕入れ単価の上昇といったコスト面の問題を挙げる経営者が一番多く、ロシア・ウクライナ情勢を受けた資源価格・食料価格の高騰の影響が伺える。

(製造業) 原材料の高騰などを背景として3DIとも悪化した製造業

- ・経営上の最大の問題点は「原材料価格の上昇」となっている。
- ・人件費やその他経費の増加を指摘する割合も増えており、コスト面の不安が大きくなっている。

(建設業) コスト増の懸念はあるが、前期から改善した建設業

- ・経営上の最大の問題点は「材料価格の上昇」となっている。
- ・1年前と比較して「増加・上昇・好転」という回答割合は3DI全てで上昇している。

(小売業) 採算、資金繰りを中心に前期から改善した小売業

- ・経営上の最大の問題点は「仕入単価の上昇」となっている。

(サービス業) 前回の反動もあり、主要3DIが悪化したサービス業

- ・4～6月期に引き続き、「飲食店」「宿泊業」の売上額DIの水準はプラスを保っている。
- ・経営上の最大の問題点は「材料等仕入単価の上昇」となっている。